

JPIC NEWSLETTER

通巻 231 号

2022 年 4 月 7 日

第28期 読書アドバイザー養成講座 99名が修了

第28期JPIC読書アドバイザー養成講座の最終スクーリングを、3月26日（土）、27日（日）に開催しました。当初スクーリングは会場開催を予定していましたが、新型コロナウイルス感染症の第6波の拡大により急遽オンライン（Zoom）に変更。

26日は、佐々木宏子さん（鳴門教育大学名誉教授）による「発達と読書—子どもの個性を尊重し育むために—」、専任講師の永江 朗さんによる講座のまとめ、北島輝幸さん（集英社常務取締役）の「漫画読者の変化、それに対する出版社の対応の変化」の講義をおこないました。

27日は田口幹人さん（未来読書研究所 共同代表）による「新しい本との出会いの作り方」からスタート。今期より新たに設けた講義は、受講者にとっての読書推進をあらためて考える機会となり、チャット機能には活発に質問がありました。修了記念講演は中江有里さん（女優・作家・歌手）にご登壇いただきました。永江朗さんが聞き手となり、中江さんの著作『万葉と沙羅』（文藝春秋）の誕生秘話や脚本家、小説家としてのお話を伺いました。

28期の修了生は99人で（27期補講生含む）、これにより修了生は計約2,700人となりました。

29期は8月に開講する予定です。募集時期は6月初旬頃を予定しています。是非JPICのホームページ、メールマガジンをご覧ください。



中江有里さんと聞き手の 永江 朗さん

JRAC × 「この本読んで！」 第3回「親子で読んでほしい絵本大賞」 贈賞式を 開催しました

第3回「親子で読んでほしい絵本大賞」贈賞式が3月15日（火）出版クラブで開催されました（主催：JPIC読書アドバイザークラブ〔JRAC〕 協力：JPIC）。



大賞受賞の前田さん（右）とはたさん（左）
撮影／石川正勝

この絵本大賞は、2021年度に刊行された『この本読んで!』春号～冬号で紹介された新刊絵本400冊を対象に選考委員によって事前に選ばれた12作品からJRAC会員の投票で決定します。

大賞は『二平方メートルの世界で』（文：前田美音/絵：はた こうしろう/小学館刊）。

当日は、作者の前田美音さんと、はたこうしろうさんをお迎えし、JRAC代表幹事の洞本昌哉さんから賞状を贈呈しました。この本を編集した小沢一郎さんによるインタビューで、前田さんは「はたさんの絵はまるで入院生活を見てきたかのように心の中まで描いてくれている」と、質問一つ一つに丁寧に応えていました。

第79回評議員会および 第128回理事会を開催

去る3月28日（月）に第79回評議員会および第128回理事会を、出版クラブビルおよびオンライン（Zoom）にて開催し、以下の議案について審議いただきました。

【第1号議案】

2021年度事業報告案並びに収支見通し

【第2号議案】

2022年度事業計画並びに収支予算案

【報告事項】

特別委員会・専門委員会の取り組みについて

報告事項の「特別委員会・専門委員会の取り組み」については、昨年12月より開始した委員会の概要及び経緯、方向性について報告いたしました。今後も専門委員会を中心に調査・研究を継続的に行い、6月を目途に中間報告を行う予定です。各会ともに、すべての議案は満場一致にて承認されました。

JPIC ONLINE

3月はオンラインイベントを7回開催

『ざんねないいきもの事典』で有名な動物学者の今泉忠明さんには「動物の進化とざんねんな生態」として、生き物の不思議な生態の仕組みをお話いただきました。

半年に渡って開催された亀山郁夫さん(名古屋外国語大学学長)「ドストエフスキー長編小説の深淵」(共催:一般財団法人光文文化財団)は第6回の『カラマーズフの兄弟』にて閉講。

村中李衣さん(ノートルダム清心女子大学教授)による「「子どもの本」の創作講座〜はじめの一歩、二歩、三歩〜」、季節のお話や道具がなくても楽しめる手遊びなどを披露してくださいました藤田浩子さんの「おはなし春夏秋冬」、川瀬和也さん(宮崎公立大学教授)「ヘーゲル哲学の魅力に迫る」(共催:一般財団法人光文文化財団)も最終回を迎えました。

他にも「JPIC絵本アワー「こんにちは、絵本たち!」」、児童書出版社を見学する「子どもの本と出会う 絵本アーカイブ」ではフレール館を訪れるなど、多彩なジャンルでイベントを開催できました。

翻訳出版事業【新刊のご案内】

日本国際問題研究所による翻訳出版事業にて、下記4タイトルの英訳を刊行しました。

岡本隆司著『世界のなかの日清韓関係史 交隣と属国、自主と独立』(講談社)、坂元一哉著『日米同盟の絆 安保条約と相互性の模索 増補版』(有斐閣)、杉原隆著『山陰地方の歴史が語る「竹島問題」』(自費出版)、日暮吉延著『東京裁判』(講談社)

*2022年3月JPIC刊行。各書店よりご注文いただけます。電子版も配信予定。

昨年8月に刊行した英文論文集Examining Heisei Japan: Diplomacy and Security, Vol. I (北岡伸一監修 国分良成・白石隆・田中明彦・中西寛著)とともに、各国の大学図書館、研究機関に寄贈します。



左から: Examining Heisei Japan (Kitaoka Shinichi, Kokubun Ryōsei, Nakanishi Hiroshi, Shiraiishi Takashi, Tanaka Akihiko); Contested Perceptions (Okamoto Takashi); The Bonds of the Japan-US Alliance (Sakamoto Kazuya); The Tokyo Trial (Higurashi Yoshinobu); The History of Takeshima and Japan (Sugihara Takashi)

2021年度

「マンガ感想文コンクール」表彰式 来年は全国展開!

3月19日(土)に2021年度「マンガ感想文コンクール」表彰式を執り行いました(主催: JPIC/協賛: 集英社)。



高等学校の部 グランプリ
福井商業高等学校 酒井啓祐さん

コロナウイルス感染状況などを鑑みオンラインでの開催となった式ですが、小学生から高校生まで12名が参加し表彰されました。

グランプリを受賞した児童生徒からは「マンガへの想いがどんどんあふれてきてそれを形にするのは、とても楽しい経験でした」「苦しい中でのこともマンガとともに乗り越えた」といったコメントがありました。

最終審査員の甲斐雄一郎先生(筑波大学)、藤本由香里先生(明治大学)ブルボン小林さん(コラムニスト)中野博之さん(週刊少年ジャンプ編集長)には、一つ一つの作品に対する講評や総評をいただきました。また、町田守弘先生(早稲田大学)からはコンクールが「学校とマンガとの新たな関係を構築する貴重な一歩となったはず」という言葉をいただきました。

最後には受賞者特典として「ジャンプ編集部紹介ツアー」と題し、編集長の中野さんが自ら編集部を案内、質問の時間は盛り上がり、表彰式に参加した子どもたちにとって貴重な機会となりました。

受賞したグランプリ4作品、特別賞8作品は現在、JPICのホームページ(下記アドレス)にて公開中です。今年度は「マンガ感想文コンクール実行委員会」を設立し、全国的に展開していきます。是非ご注目ください。

NEWSについてのお問合せや詳細資料ご希望の方は、事務局までお申し付け下さい。
JPIC HPアドレス: <https://www.jpic.or.jp>
賛助会員様のイベント情報を発信します!